



※本書は、2020年4月号にて、イチ押し書籍としてご案内を差し上げております。注文が重なった場合には、多い方の冊数で進めさせていただきます。

経済／金融書で担当者様

(2020年5月上旬刊行予定)

時代の「見えない危機」を読む 平積み

——迷走する市場の着地点はどこか

黒瀬浩一 (りそな銀行信託財産運用部チーフ・エコノミスト／チーフ・ストラテジスト) [著]

本体予価 2,700円 四六判仮上製／576頁

ISBN978-4-7664-2677-9 C0033

市況を読み解くには時代と社会を見渡す大局観が必須である!



(書影イメージ)

激動の30年を乗り越えた、日本有数の投資実務家が培った投資哲学とは?

戦後米国経済・金融史や日本経済の動向を織り込んだ上で、市況を洞察する力へと読者を導く。単なる金融市場の時事解説とは一線を画す、壮大なスケールで社会経済を描く、読み応え充分の一冊!

●類書● ダニ・ロドリック『貿易戦争の政治経済学』(白水社)

 本書の刊行記念フェアについて、裏面でご案内しております!
ぜひご確認ください!

 ご注文は FAX で! 03 - 3451 - 3124 

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	本体予価	部数
新刊委託		黒瀬浩一 著	2,700円	★★★★ ★★★★
		時代の「見えない危機」を読む ——迷走する市場の着地点はどこか ISBN978-4-7664-2677-9 C0033		

★1つで「500部」を表します

営業部からのおすすめポイント

歴史的視野をもって社会経済のダイナミズムを描く書籍は、ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A・ロビンソン『国家はなぜ衰退するのか 上・下』（早川書房）、グレン・ハバード、ティム・ケイン『なぜ大国は衰退するのか』（日本経済新聞出版社）などの海外の研究者によるものばかりで日本人による著作は残念ながら見当たりません。本書はまさにこれらの書籍の“日本人版”として、現状の偏った環境に切り込んでいく野心的作品です。

本書と同様に、“歴史観をもって経済を読み解く”のに役立つ書籍を集めたフェアも企画中です。30点規模での構成を考えていますが、主要10点を以下に掲載します。ご確認の上、ぜひ展開をご検討下さい！（乙子）

● 「歴史観をもって経済を読み解く」ブックフェアリストの一部

	書名	著者	出版社	刊行年
1	米中戦争前夜	グレアム・アリソン／藤原朝子訳	ダイヤモンド社	2017
2	貿易戦争の政治経済学	ダニ・ロドリック／岩本正明訳	白水社	2019
3	国家はなぜ衰退するのか 上・下	D・アセモグル、J・A・ロビンソン／鬼澤忍訳	ハヤカワ文庫 NF	2016
4	熱狂、恐慌、崩壊（原著第6版） 金融危機の歴史	C・P・キンドルバーガー、 R・Z・アリバー／八木甫・吉野俊彦訳	日本経済新聞出版社	2014
5	大分断	タイラー・コーエン／池村千秋訳	NTT出版	2019
6	群れはなぜ同じ方向を目指すのか？	レン・フィッシャー／松浦俊輔訳	白揚社	2012
7	ビッグミステイク レジェンド投資家の大失敗に学ぶ	マイケル・バトニック／鈴木立哉訳	日経 BP	2019
8	シン・ニホン	安宅和人	NewsPicks パブリッシング	2020
9	渋沢栄一 上 算盤篇・下 論語篇	鹿島茂	文春文庫	2013
10	それでも金融はすばらしい	ロバート・J・シラー／山形浩生・守岡桜訳	東洋経済新報社	2014